議題2：債券（国庫短期証券）の見積合せについて

市名		各市の状況			
		①基金の一括運用を行なっているか？	②運用方法等について？	③開始予定はいつにしたいか？	④行う予定がないのはなぜか
1	名古屋市	ア．行っている。 （少なくとも平成9年から）	運用商品としては、預金又は債券として運用。 平成25年3月末現在、全体に占める債券運用の割合は、43．69％	―	―
2	豊橋市	ア、行っている （平成15年度から）	本市においては基金の性質によって区分けをしています。 ・財政調整基金、減債基金を“財調等積立型基金” ・元金を取り崩すことなく、利息を収益として事業に使う基金を“果実運用型基金” （例えば、教育振興基金、文化振興基金、福祉振興基金など） ・主に利息を積立て、元金の取り崩しを行う基金を“その他積立型基金” （例えば、国民健康保険事業財政調整基金、介護保険給付費等準備基金、ふるさと基金など） 運用利息の按分については、運用期間中の基金の残高の合計の占有割合に応じて按分し配当をしています（豊橋市基金の一元運用に関する事務取扱要綱）。 なお、運用は債券（国庫短期証券）と大口定期預金を主体として運用しています。大口定期預金の運用は、運用額を1千万円以上、運用期間を1ヶ月以上1年未満とし、債券（国庫短期証券）は、運用額を1億円以上、運用期間を1ヶ月以上3カ月未満としています。金利動向、運用日数を考慮して、運用方法の選択をしています。ただし、果実運用型基金については、元金の取り崩しを想定しないため、5年以上10年未満の債券（国債、地方債、政府保証債）で運用しています。	―	―
3	岡崎市	イ、行っていないが、今後行ないたいと考えている	―	平成25年度3月末	―
4	一宮市	ア．行っている。 （平成18年9月から）	基金のうち、ある程度の金額があり短期的に取り崩す必要がないものについて、安全性の確保、収益性の向上の観点から、一番有利な方法で、複数の基金をまとめて運用している。	―	―
5	瀬戸市	イ、行っていないが、今後行ないたいと考えている	―	未定	―
6	半田市	ア、行っている （平成18年度から）	大口定期　7．1％	―	―
7	春日井市	ウ、行っておらず、また、今後も行う予定はない	―	―	指定金融機関での譲渡性預金で運用しているため。
8	豊川市	ア、行っている （平成25年3月から）。	指定金融機関始め指定代理金融機関等、豊川市が指定する金融機関で、公金運用基準を満たしている金融機関で、入札により運用先を決定する。額面は、基金額が小さいもののうち、運用期間が同一の基金を、5億円以上のロットとなるようにして運用した。	―	―
9	津島市	ウ、行っておらず、また、今後も行う予定はない	―	―	各基金それぞれの目的および所管課の意向もあるため。
10	碧南市	ア、行なっている （開始時期は不明）	・運用方法は大口定期です。 ・割合は全額です。	―	―
11	刈谷市	ウ、行っておらず、また、今後も行う予定はない	―	―	財政調整基金以外の基金については、積立額も少なく、それぞれ取崩計画もあり、一括での運用は難しいと考える。
12	豊田市	ア、行っている （開始の正確な時期は不明であるが、平成16年度には実施している記録がある。）	運用のロットは、1件につき10億円以内としている。 基金の種別（財産維持基金、資金積立基金等）ごとに、各基金を10億円以内で合算し、 運用している。 額面や全体に対する割合は運用の都度変動する。ひとつの基金で10億円を超えるものなどは、最大の10億円で運用を行っている。ただし、それを超えた端数の部分等も極力合算して大きな単位で運用できるように行うようにしており、その時点で最大限の一括運用を図るようにしている。	―	―

市名		各市の状況			
		①基金の一括運用を行なっているか？	②運用方法等について？	③開始予定はいつにしたいか？	④行う予定がないのはなぜか
13	安城市	ア、行っている （平成25年3月）	・大口定期。（小額基金に対応する小口運用を無くす目的で、額面を合算し、大口定期とした。） ・全体額に占める一括運用の割合は、16.7%	－	－
14	西尾市	ウ、行っておらず、また、今後も行う予定はない	―	―	基金は、特定の目的のために財産を維持し、資金を積立て、または定額の資金を運用することから、計画的な運用が可能な資金と言えます。しかし、そういった目的の違いから、必要な資金の金額や取り崩し時期などが異なるため、一括で運用を行うのは難しいと考えております。
15	蒲郡市	ウ、行っておらず、また、今後も行う予定はない	―	―	基金によってそれぞれ目的・性格が違い、一括で運用しづらいため。
16	犬山市	イ、行っていないが、今後行ないたいと考えている	―	未定	―
17	常滑市	イ、行っていないが、今後行ないたいと考えている	―	未定	―
18	江南市	ウ、行っておらず、また、今後も行う予定はない	―	―	基金の一括運用について、最近実施している団体があることを知り、検討段階にあるため。
19	小牧市	ア、行っている （平成19年4月から）	大口定期預金、5年未満の中期債券及び1年未満の短期債券にて運用しており、平成25年6月末時点で割合は普通預金12．04%、大口定期預金27．43%、短期債券37．94%、中期債券22．60%となっている。	―	―
20	稲沢市	ア、行っている （平成6年度から）	基金の約3分の1を1年定期で運用し、今後の基金の資金計画を見定めて、運用可能額を国庫短期証券（3カ月運用）にて運用。	―	―
21	新城市	ウ、行っておらず、また、今後も行う予定はない	―	―	基金の目的が各々違うため一括運用は考えておりません。
22	東海市	ウ、行っておらず、また、今後も行う予定はない	―	―	基金の定期預金預け入れの際の利率については、複数基金の額を提示し、その合計額で利率をつけてもらっているので、質問の主旨とほぼ同様の取り扱いとなっているため。
23	大府市	ウ、行っておらず、また、今後も行う予定はない	効率的な運用や事務軽減のため、担当部署に基金積立額や取崩時期について照会し、可能であれば基金を合わせて債券（地方債）を購入しています。平成18年度頃から行い、運用先は調整の上、会計課が集約して行っています。	―	一括運用の仕組みやメリットが不明であるため。
24	知多市	ウ、行っておらず、また、今後も行う予定はない。	―	―	当市の基金数（7）では、運用益発生時の事務処理を考慮するとメリットが考え難い。また、基金によって取崩し時期が異なる点からも、行うことは考えていない。
25	知立市	ウ、行っておらず、また、今後も行う予定はない。	―	―	各基金の使用時期が不確定（1年以上の期間）のため
26	尾張旭市	ウ、行っておらず、また、今後も行う予定はない。	―	―	職員不足と基金所管課からの情報提供が少ないため、基金を一括運用することが難しい。
27	高浜市	ア、行っている （開始時期については不明）	合同基金運用基金：「減債基金」「公共施設整備基金」「港湾環境対策基金」 利子運用合同基金：「まちづくりパートナーズ基金」「地域福祉基金」「職員研修基金」 「たかはま夢・未来基金」「障害者福祉基金」「奨学基金」 運用方法は1年満期の大口定期預金 全体に占める割合：54%	―	―

市名		各市の状況			
		①基金の一括運用を行なっているか？	②運用方法等について？	③開始予定はいつにしたいか？	④行う予定がないのはなぜか
28	岩倉市	ウ、行っておらず、また、今後も行う予定はない。	―	―	運用資金全体の額が少なく、短期間の運用を実施しているため一括運用で得られるメリットが少ないため。 各基金ごとで運用することで明確に管理できるため。
29	豊明市	ウ、行っておらず、また、今後も行う予定はない。	―	―	預金による中長期の運用計画及び、債権運用計画の作成に至っていないため。
30	日進市	ウ、行っておらず、また、今後も行う予定はない。	―	―	各基金の繰入等の時期により運用できる期間が異なり、個別に運用期間を設定したほうが期間を長くでき有利なため。
31	田原市	イ、行っていないが、今後行いたいと考えている。	―	未定	田原市資金の運用管理に関する要綱において、基金毎に管理するように定められておりますが、財政担当者と協議のうえ、実施時期等を検討していく予定です。
32	愛西市	ア、行っている （合併時（H17年度）から行っている）	普通預金・定期預金・債券等で運用し、各基金別残高を積数按分（各基金の残高を毎日積算し、その合計金額を日数で除する）し、その数値を基に運用で得た利息を按分し、3月末に各基金に配分しています。 （6月末現在、普通預金2.3%、定期預金65.2%、債券32.5%）	―	―
33	清須市	ウ、行っておらず、また、今後も行う予定はない。	―	―	近く事業化となる目的基金ばかりのため、それぞれの基金で資金運用をしている。
34	北名古屋市	ウ、行っておらず、また、今後も行う予定はない。	―	―	各々の基金の随時取崩しの可能性があるため。
35	弥富市	イ、行っていないが、今後行いたいと考えている。	―	未定	―
36	みよし市	ウ、行っておらず、また、今後も行う予定はない。	―	―	みよし市では、複数基金の資金を合算して運用する「基金の一括運用」は行ってはいません。 ただ、毎年3月に満期日を設定している基金が多く、一括運用ではありませんが、基金毎ではありますが、同日に一斉に預入という形での運用はしています。 基金毎に目的が異なり、運用期間もまちまちですので、複数の基金の資金を合算して運用する事は、行っていないのが現状です。
37	あま市	イ、行っていないが、今後行いたいと考えている。 現在あま市公金管理及び運用基準により基金ごとに管理している。	―	平成25年9月を予定	―
38	長久手市	ア、行っている （平成14年）	定期預貯金、普通預貯金及び地方債 債券は基金総額の概ね4割を限度とし、満期までの期間を5年以内としている。		―